

第12回阪南みらい会議 会議要旨

日時：平成22年6月16日(水)

19:00~21:00

場所：市役所3階 全員協議会室

出席者

委員 13名(欠席者8名)
アドバイザー 近畿大学 久教授
事務局 総務部理事、みらい戦略室5名、
パンフィックコンサルタンツ(株)1名

(1) 会議の進め方について

(まとめ)

- ・全体形式にて、各自考えてきたキャッチフレーズやその他の想いについて発表する。その後、みらい会議としてキャッチフレーズを一本化する。

(2) 委員の意見

・ **みんなでさかそう 阪南の宝もの**

「お互い様」で支え育てあう 阪南の人

- ・財政の厳しいなか、まちづくりには今ある資源をいかに活かすかが重要である。阪南市にある最大の資源(宝)は、「人」だと考える。

・(重点項目)

- ・安全で安心して最後まで住み続けられるまち
- ・市民の自立・共生を支援するまち
- ・(追加項目)人材育成(学校教育・生涯学習)に重点をおくまち
- ・自然・歴史・産業を活かしたまちづくり
- ・官民協働を土台にしたまちづくり

・ **みんなで築こう 共に生きるまち(阪南)**

- ・自立・協働の当事者意識を持つことが重要である。
- ・市民や団体、自然などを繋ぐことで生まれる「出会い、ふれあい、学びあい」を大切にする。
- ・地域資源を活かした地域の活性化を行うことが必要である。

・ **みんなで築こう 共に生きるまち（阪南）**

・「共生」という強い言葉を包含した、「共に生きるまち」という部分は少なくとも崩しようがないのではないか。

・ **みんなでさかそう！ 花と笑顔と公民協働の輪**

・「花」：自然を守ることは基本となる大切なことである。山や海を大切にしていけるとともに、市の花であるさつきを初めとしたいろいろな花を市内いっばいに咲かせたい。

・「笑顔」：市民の自立（人づくり）を目指す。市民一人ひとりが自立し、明るい心を持って、いきいきとした笑顔を作っていきたい。

・「協働」：人づくりによってネットワークを作っていき、あらゆる分野の情報共有、互いの理解、ネットワークの共有によって、強いつながりを持った公民協働システムを作りたい。

・「安心安全」：「笑顔」に含まれる要素になりうる。

・つながりやネットワークを強化する必要性については共通認識がとれたと思う。キャッチフレーズ内が無理なら、その下にぶら下げる柱の部分にでも入れるべきではないか。

・キャッチフレーズはシンプルで覚えやすいものにするべきだと思う。

・「共に生きる」はやや暗い感じがするので、「繋がりあう」ではどうか。「さかそう」と「築こう」については、「築こう」のほうが目的が明確で実行に移しやすいイメージがある。

・ **共にさかそう みんなで築くまち 阪南**

・花（緑）と繁栄を表すため、ひらがなの「さかそう」でいいと思う。

・（キャッチフレーズの前文として）

わたしたちは、共に学び育てあい、みんなが生きる 阪南“志”民

・（重点項目として）

・「想いをカタチに」「つながる・ひろがる」：つながりによって幸せが感じられるまちづくりを行う。「住民が自立し、支えあう」ため、人材育成を含めた基盤整備なども重要。

・「阪南“志”民」：阪南市に住む人、働く人が「まちをよくしたい」という共通の志を持った仲間となること。つながりの希薄化が言われているなか、特に大切なのは、子どもことから地域や活動と関わる機会を多く設ける仕組みを作ること。

～久教授アドバイス～

・みらい会議のまとめについてであるが、委員間で共有できた部分をはっきりさせれば、総合計画の中に市民の重要な意見として反映がされるのではないかと。

・「市民みんなでのまちづくり」というのは当たり前ということで、「みんなで」という言葉はいらぬのではないかと意見があった。あくまでも参考であるが、「共に築こう のまち」というのはどうだろうか。「共に築こう」ということで協働を示し、それ以外の意味を持つ言葉を使って作ればすっきりと纏まるのではないだろうか。

- ・会議のなかで出た、「笑顔」と「お互い様」について言うとなると、こうなる。

笑顔：個人の状況を表す

お互い様：社会の状況を表す。

(3) 今後の進め方について

- ・スケジュール的には、6月いっぱいという予定である。みらい会議として、提言書を完成させることより、まちづくりの理念や将来像など、イメージを作ることに集中する。ただし、みらい会議の委員全員で共有できた部分とそうでない個人の意見については、明確にすることとする。
- ・キャッチフレーズについては基本的にひとつに絞ることとする。全員の合意が取れた項目に関しては、柱ということで下にぶら下げるものとする。
- ・キャッチフレーズにおいて一番大切なのは、そこに込められた想いであるが、覚えやすさ＝共有しやすさも考慮する必要がある。

(4) 次回の日程と司会者について

6月29日(火) 19:00～

司会者は浅井委員、猪俣委員とする。